

平成25年度 事業別予算概要

事業名	72100	道路橋りょう管理事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	市 長 公 約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。			
種別				款	7	土木費		分野	3	道路・交通	実施計画事業					
担当課	基盤整備部 維持課			内線	2322	項		2	道路橋りょう費	基本施策	1			便利で快適な道路環境を整備する	H25実施計画額	千円
				目	1	道路橋りょう総務費		施策	4	道路利用環境の向上						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	道路・橋りょう施設等を良好な状態で利用できるように適切な維持管理を行う。	概要	事業の実手法(手段)	トンネル・融雪装置の光熱費の支払いや保守点検、修繕を行う。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	融雪装置の燃料費、光熱費の拠出。 除雪作業車等車検修繕費の拠出。 融雪装置保守点検、修繕費の拠出。 トンネル等防災設備保守点検、修繕費の拠出。						
成果面	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	施設の保守点検や正常稼働に配慮する。 維持管理経費の高額なものについては、経費削減方法を検討する。 更新時期に、維持管理コストや環境に配慮した施設選定を行う。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	道路利用者の安全性が担保される範囲内で、融雪装置の稼働温度やセンサーの設定変更についてデータを整理して研究する。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	154,767	163,017	166,900	94,744
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,650	1,747	1,797	1,020
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	除雪機械他維持管理車両の修繕 融雪装置用燃料費 融雪装置等電気料 トンネル緊急通報装置維持管理・保守点検	要求のポイント	国府町宇津江地区浸水対策事業に係るポンプ等の整備	事業実施の課題	融雪装置やトンネル等の照明を稼働させるための電気料金が、燃料調整費の影響で高騰している。 維持作業を行うための車両や除雪機械の修繕費が経年劣化の進行によって、増大している。 除雪請負業者に除雪機械を保有し維持管理していく体力がなくなっているため、除雪機械の不足が予想される。
------	---	---------	--------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	56,613	94,744	38,131	66,613	66,613	・積算内容を精査し、施設維持管理費は前年並み事業費とする ・豪雨による浸水対策備品の購入経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	45,626	46,473	847	46,426	46,426		
一般財源	10,987	48,271	37,284	20,187	20,187		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	72103	急傾斜地崩壊防止事業 (負担分除く)	内線 2326	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	急傾斜地崩壊対策5か年整備計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。 ・土石流等の自然災害に備える防災施設の施工を進め実践的な防災訓練を実施します。
	課				7	土木費	分野		8	防災	実施計画事業		急傾斜地崩壊防止事業(負担分除く)		
	担当課				2	道路橋りょう費	基本施策		1	災害に強いまちをつくる	H25実施計画額		24,000 千円		
	目				1	道路橋りょう総務費	施策		3	豪雨災害の防止					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	急傾斜地崩壊危険箇所に住居する市民及び通過車両等	どうしたいのか(意図)	急傾斜地崩壊対策施設の整備を行い、崩土による被災から市民の生命・財産を守る。	概要	事業の実施手法(手段)	重力式擁壁・モタル擁壁・法面工等を急斜面で施工することにより、崩土による被災の防止を図る。
	対象者数	24 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	区域指定手続き 重力式擁壁工 H=2.5m~4.5m V=269㎡ L=44m 法面工(植生基材吹付け) A=229㎡							
成果面	成果指標	指標名	単位	目標-実績	H22	H23	H24	H25
		急傾斜地崩壊対策施設整備延長	m	目標値	0	44	27	40
		算出根拠等		実績値	0	44		
				達成率(%)		100		
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足			目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・対策工が必要な箇所が膨大にあり、早期に事業を進めて早期に効果を発揮させる必要があるため、県においても財政的に厳しい状況ではあるが、今後も継続して事業費拡大を要望していく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・急傾斜地崩壊対策5か年整備計画に基づいた事業の進捗が図れるよう継続的に要望している。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・急傾斜地崩壊対策5か年整備計画に基づき、県の補助金確保と崩壊防止施設工事を進める。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	10,710	19,501	24,000	59,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	446,250	812,542	1,000,000	1,322,222
	受益者	急傾斜地崩壊危険箇所に住居する市民	(B)	24	24	24

5 予算編成(Action2)

事業内容	・急傾斜地崩壊対策工事(山王洞地区) ・次期工事予定箇所の測量、地質調査、地籍調査、設計	要求のポイント	・山王洞地区の完成に向けた対策工事の推進 ・平成26年度から対策工事を実施する箇所の調査及び設計	事業実施の課題	・県補助金の継続した予算確保
------	---	---------	---	---------	----------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	24,000	59,500	35,500	49,000	49,000	急傾斜地崩壊対策整備計画に基づき、積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	16,000	21,000	5,000	18,000	18,000		
その他			0				
一般財源	8,000	38,500	30,500	31,000	31,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名 72110 種別	道路台帳管理費			会計	1	一般会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画		市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。				
	担当課 基盤整備部 維持課	内線 2322	予算		7	土木費		総合計画	3		道路・交通			実施計画事業	道路台帳管理事業		
					2	道路橋りょう費			基本施策		1				便利で快適な道路環境を整備する	H25実施計画額	15,000 千円
					1	道路橋りょう総務費					4				道路利用環境の向上		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	道路法に基づき、道路台帳の整備を実施することで適切な道路の維持管理に寄与する。	概要	事業の実手法(手段)	道路整備完了箇所や占有物変更箇所を台帳に反映して、正確な道路台帳を整備し活用する。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	道路台帳更新作業							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
					目標値	169	176	170
	実績値	169	176					
	算出根拠等		達成率(%)	100	100			
					目標値			
					実績値			
	算出根拠等		達成率(%)					
					目標値			
					実績値			
	算出根拠等		達成率(%)					
					目標値			
					実績値			
	算出根拠等		達成率(%)					
					目標値			
					実績値			
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	道路を維持管理するためには必要であり、道路法で設置が定められていることから継続して実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	道路を維持管理するためには必要であり、道路法で設置が定められていることから継続して実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	13,367	15,901	16,000	37,932
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	142	170	172	408
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	本庁及び各支所管内の道路台帳の補正	要求のポイント	道路台帳の基となっている地形図が古くなっているため、平成24年度撮影の地形図に更新する。また、台帳についても紙ベースになっているものをデジタル化して業務の効率化を図る。	事業実施の課題	上下水道のGIS活用計画との連携について検討する。
------	-------------------	---------	--	---------	---------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		16,000	37,932	21,932	16,000	16,000	・積算内容を精査し前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	40	40	0	40	40		
	一般財源	15,960	37,892	21,932	15,960	15,960		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	72400	交通安全施設整備事業	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。			
種別				款	7	土木費		分野	9	安全				実施計画事業	交通安全施設整備事業	
担当課	基盤整備部 維持課			内線	2322	項		2	道路橋りょう費	基本施策	1					日常生活における安全を確保する
				目	4	交通安全対策費		施策	3	交通安全対策の充実						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	交通事故の危険性がある箇所に交通安全施設を設置し事故防止を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	道路反射鏡・ガードレール・道路照明・道路区画線等の新設や修繕を行う。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	ガードレール設置 L=1,068m 道路反射鏡設置 N=41基 区画線設置 L=39,238m 道路照明灯設置 N=2基						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	ガードレール設置	m	目標値	400	1,350	1,164	811
			実績値	753	1,068		
算出根拠等			達成率(%)	188	79		
活動指標	道路反射鏡設置	基	目標値	30	40	35	34
			実績値	35	41		
算出根拠等			達成率(%)	117	103		
活動指標	道路照明灯のLED化	基	目標値	1	2	5	160
			実績値	1	2		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
成果面			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	最大限の効果を発揮する交通安全施設の選定を行う。 維持管理に配慮して施設選定を行う。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	道路照明として必要な照明灯以外は、所管変えを行う。 町内会に譲渡するものについては、LEDに交換してから譲渡する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	交通安全施設の設置については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストや環境にも配慮した資材・工法の検討を行なって、事業を推進する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	50,373	30,672	32,000	53,157
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	537	329	345	572
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	交通事故の危険性のある箇所に交通安全施設を設置し事故防止を図る。	要求のポイント	・道路照明の省電力化のため、照明灯のLED化を実施し、ランニングコストの減少を目指す。	事業実施の課題	道路施設の老朽化や劣化が進んでおり、道路の危険箇所の情報並びに安全施設の整備・更新については、職員だけではパトロールできないため地域住民の協力が不可欠である。 また、交通安全対策は他部局(警察、市民活動推進課、教育委員会、各道路管理者等)との連携が不可欠である。 ハード面の整備だけでは安全対策として不十分であり、高齢化するドライバーへの安全運転の啓蒙や通学児童への安全指導などソフト面の対策が必要である。
------	----------------------------------	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	32,000	53,157	21,157	45,000	45,000	・精算内容を精査 ・道路照明のLED化改修に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金		5,500	5,500	5,500	5,500		
県支出金			0				
その他	25	25	0	25	25		
一般財源	31,975	47,632	15,657	39,475	39,475		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	72403	道路施設バリアフリー整備事業	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	道路施設バリアフリー整備計画	市長公約 ⁶ 市民の生活と生命・財産を守ります。 支所地域と市街地を結ぶ主要道路や都市計画道路の整備を進めます。
種別			款	7	土木費	分野	3	道路・交通	実施計画事業	道路施設バリアフリー整備事業	
担当課		基盤整備部 維持課	項	2	道路橋りょう費	基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する	H25実施計画額	150,000 千円	
		内線	目	4	交通安全対策費	施策	2	生活に身近な道路の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	歩行者が安全で安心して快適に暮らせる環境づくりに向け、ユニバーサルデザインの観点から道路施設についてバリアフリー化整備と歩行者移動支援施設整備を実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	・道路施設バリアフリー化整備(既設側溝改修・蓋設置並びに路肩部のカラー舗装、歩道段差解消、グレーチング蓋の細目化 ・歩行者移動支援施設整備(融雪ブロック+知らせるあかり、知らせるあかりソーラー)
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	歩行空間整備(バリアフリー) L=780m 歩行者移動支援施設整備(知らせるあかり) N=27箇所							
成果面	活動指標	歩行空間整備(バリアフリー)	m	目標-実績	H22	H23	H24	H25
		算出根拠等		目標値	940	780	1,104	743
			実績値	935	780			
	活動指標	歩行者移動支援施設整備(知らせるあかり)	交差点	目標値	4	4	4	4
		算出根拠等		実績値	6	4		
			達成率(%)	150	100			
	成果面			目標値				
		算出根拠等		実績値				
			達成率(%)					
	成果面			目標値				
		算出根拠等		実績値				
			達成率(%)					
	補足			目標値				
		算出根拠等		実績値				
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	維持管理や環境に配慮した工法や資材の選定を行い、事業効果を向上させる。
-----------------	-------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	維持管理や環境に配慮した工法や資材の選定を行い、更なる費用対効果の向上に努める。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	214,511	170,360	175,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,286	1,826	1,885
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路施設バリアフリー化整備(歩行空間の確保) ・歩行者移動支援施設整備(知らせるあかりソーラー) ・市街地の既設側溝改修及び整備済み路線の修繕(市内一円) 	要求のポイント	事業実施の課題	・事業全体として、工法や資材の比較検討によるイニシャルコストやランニングコストの削減が必要である。
------	--	---------	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	175,000	175,500	500	134,000	134,000	・実施箇所及び精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	77,000	90,475	13,475	57,200	57,200		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	98,000	85,025	△ 12,975	76,800	76,800		

平成25年度 事業別予算概要

事業名 72440 種別	臨時駐車場対策事業費		会計 1 一般会計	政策 3 「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	総合計画 3 道路・交通	根拠計画	実施計画事業 臨時駐車場対策事業	市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります。							
	担当課 基盤整備部 維持課	内線 2322							予算	款 7 土木費	分野 3 道路・交通	基本施策 1 便利で快適な道路環境を整備する	H25実施計画額 21,000 千円		
														項目 2 道路橋りょう費	基本施策 4 道路利用環境の向上

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか (意図)	高山祭り、ゴールデンウィーク、お盆に臨時駐車場開設等を実施して、市内の渋滞緩和を図り、観光客の利便性を向上させる。	概要	事業の実施手法(手段)	臨時駐車場の開設、交通整理員の配置、案内看板の設置、駐車場から観光客を運ぶシャトルバスの運行。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	ゴールデンウィーク、お盆、春・秋の高山祭りに臨時駐車場を開設した。							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		臨時駐車場開設	箇所	目標値	15	15	13	13
		算出根拠等		実績値	6	11		
				達成率(%)	40	73		
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足			目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	市中心部への大型バスの進入については、駐車場案内システムの利用や細やかな連絡体制の確立により収容能力を超えない台数で制御して渋滞発生を抑制する。 高山インターからの交通量増加に適應した臨時駐車場の場所を選定して、効率的な運営を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	
	拡大	これまでに蓄積されたデータや駐車場案内システム、FM放送、インターネットを活用して効率的な臨時駐車場開設業務を継続して実施する。
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	・大型バスの乗り入れ規制や臨時駐車場開設時間の検討など、効果的・効率的な開設方法を引き続き研究していく必要がある。	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	19,297	19,667	20,770	24,282
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	206	211	224	261
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 臨時駐車場の開設(春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク、お盆 計4回) 観光繁忙期の交通誘導(計52日) 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 仮設トイレ設置数の増(観光バスのお客様への対応) 観光バス降車場・臨時駐車場の設置場所の変更(市庁舎駐車場に観光バス降車場を移動) 	事業実施の課題	春・秋の高山祭、ゴールデンウィーク、お盆において臨時駐車場を設置しているが、確保する臨時駐車場の適当な台数規模については、国内外の観光客の動向や曜日による増減もあり判断が難しいため、観光部局の協力を得ながら検討する必要がある。
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	20,770	24,282	3,512	19,770	19,770	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	20,770	24,282	3,512	19,770	19,770		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	72450	交通安全対策事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。		
種別				款	7	土木費		分野	3	道路・交通				実施計画事業	
担当課	基盤整備部 維持課			内線	2322	項		2	道路橋りょう費	基本施策	1				便利で快適な道路環境を整備する
				目	4	交通安全対策費		施策	4	道路利用環境の向上	千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	交通安全対策、バリアフリー整備に関わる施設等の適正な維持管理を行い、安全性の向上並びに事故防止を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	交通安全対策、バリアフリー整備に関わる施設等の適正な維持管理を行なう。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	交差点照明、点滅紙、地下道等の電気代の拠出。 駐輪場土地の借上げ。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	維持管理や環境に配慮した資材や工法の選定による維持管理経費の抑制。
-----------------	-----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	LED照明灯の採用。 「知らせるあかり」における太陽光発電タイプの採用。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	引き続き施設の適正な管理及び管理経費の節減に努める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,105	2,265	2,117	2,660
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	22	24	23	29
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	交通安全施設(交差点照明、点滅紙、地下道照明)等の維持管理	要求のポイント	新規設置照明灯はLEDの採用によりランニングコストの縮減を図る。	事業実施の課題	電気料金が、燃料調整費の影響で高騰している。
------	-------------------------------	---------	----------------------------------	---------	------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,117	2,660	543	2,097	2,097	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	2,117	2,660	543	2,097	2,097		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	72500	除雪対策事業費 (流雪溝・消融雪装置を除く)	予算 内線 2322	会計	1 一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	除雪計画	市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります。 雪またじの苦勞を軽減するため、流雪溝の整備を積極的に行います。	
種別	1			款	7 土木費		分野	8 防災	実施計画事業	除雪対策事業		
担当課	基盤整備部 維持課			項	2 道路橋りょう費		基本施策	1 災害に強いまちをつくる	H25実施計画額	427,000 千円		
				目	5 除雪対策費		施策	1 雪害の防止				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか (意図)	誰もが安心、安全な暮らしを守るため、冬期間の道路除雪及び除雪補完作業による交通確保を行う。	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 委託業務による除雪作業の実施。 凍結による事故防止のための薬剤購入。 町内会を対象とした除雪機購入補助事業の実施。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	除雪延長 車道936km、歩道69km 合計1,005km 除雪機購入補助台数 1台							
成果面	活動指標	除雪延長	km	目標-実績	H22	H23	H24	H25
		算出根拠等		目標値	1,003	1,005	1,006	1,006
			実績値	1,003	1,005			
	活動指標	除雪機購入補助	台	目標値	50	10	5	4
		算出根拠等		実績値	2	1		
			達成率(%)	4	10			
	成果面			目標値				
		算出根拠等		実績値				
			達成率(%)					
	成果面			目標値				
		算出根拠等		実績値				
			達成率(%)					
	補足			目標値				
		算出根拠等		実績値				
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	出勤基準の検討。 除雪路線の基準検討。
-----------------	------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	私道除雪基準の策定及び除雪路線の見直し。 除雪機購入補助制度の見直し。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	冬期における市民生活の安全確保並びに雪またじの軽減のため、除雪事業を引き続き実施する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・除雪路線や出勤基準について、除雪機購入補助制度の見直しも含め一体的に検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	433,629	456,497	488,000	471,200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,622	4,892	5,255	5,074
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	道路及び歩道の除雪 除雪機購入費の助成	要求のポイント	除雪機購入費補助制度の変更	事業実施の課題	除雪機購入費補助制度の利用件数を増やす。
------	------------------------	---------	---------------	---------	----------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	459,000	471,200	12,200	510,000	510,000	・近年の除雪状況を考慮し、必要な除雪費を計上 ・除雪機購入費助成制度を拡充	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	17,600	18,000	400	18,000	18,000		
県支出金	3,000	4,000	1,000	3,000	3,000		
その他			0				
一般財源	438,400	449,200	10,800	489,000	489,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	72500	除雪対策事業費 (流雪溝整備事業)	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消融雪側溝整備事業5か年計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。 雪またじの苦勞を軽減するため、流雪溝の整備を積極的に行います。
	種別			2	款		7	土木費	分野		8		
担当課	基盤整備部 維持課		予算 内線	2326	項	2	道路橋りょう費	基本施策	1	災害に強いまちをつくる	H25実施計画額	40,000 千円	
				目	5	除雪対策費	施策	1	雪害の防止				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	沿線地域住民(神田町1～名田町2)及び 通過車両	どうしたい のか (意図)	中心市街区域では高齢化、空洞化に伴い「雪またじ」に必要な機動力についても懸念されているため、「誰でも安全で安心して暮らせるまちづくり」を目指し、高齢者、女性が無理なく安全に利用でき、地域住民が協働で「雪またじ」に取り組める施設の整備(消融雪側溝整備)を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	市街地道路狭隘地区(神田町1～名田町2)までの整備延長約2kmの既設側溝を消融雪側溝にて敷設し、「雪またじ」に取り組める施設整備を図る。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市道名田末広1号線 L=230m 市道八軒町有楽線 L=320m						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	消融雪側溝整備延長	m	目標値	365	580	390	320
			実績値	365	550		
成果面	算出根拠等		達成率(%)	100	95		
			目標値				
成果面	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績値				
成果面	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果面	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
補足			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・消融雪側溝整備は、特殊構造で設置部品等があるため比較的高額であるため、既設水路を利用可能な箇所は、消融雪側溝メーカーの部品利用し簡易消融雪側溝とすることでコストの縮減を図る。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・既設水路を利用可能な箇所は、消融雪側溝メーカーの部品利用し簡易消融雪側溝とすることでコストの縮減を図っている。
次年度 の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	・消融雪側溝の機能を最大限に発揮させるため5か年計画に基づき事業進捗を図る。
○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・工法や資材の比較検討によるコスト縮減に引き続き取り組む必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	27,610	41,661	18,000	45,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	294	446	194	485
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	消融雪側溝の整備	要求の ポイント	事業 実施の 課題
------	----------	-------------	-----------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	18,000	45,000	27,000	43,000	43,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	9,350	24,750	15,400	23,650	23,650		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	8,650	20,250	11,600	19,350	19,350		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	72500	除雪対策事業費 (道路融雪装置等整備事業)	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。
	種別			3	款		7	土木費	分野				
担当課	基盤整備部 維持課		内線	2326	項	2	道路橋りょう費	基本施策	1	災害に強いまちをつくる	実施計画事業	道路融雪装置等整備事業	
					目	5	除雪対策費	施策	1	雪害の防止	H25実施計画額	10,000 千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	沿線地域住民及び通過車両、歩行者	どうしたいのか (意図)	市道の冬の除雪・凍結による事故防止のため、急坂路や急カーブの箇所に融雪施設を設置する。	概要	事業の実施 手法(手段)	定置式凍結防止剤自動散布装置を設置し、市道の融雪により事故の減少を図る。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	凍結防止剤散布装置設置 N=3箇所						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	3	3	3
成果面	算出根拠等		実績値	3	3		
				達成率(%)	100	100	
	算出根拠等		目標値				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・定置式凍結防止剤自動散布装置等を計画的に整備する必要がある。
---------------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・町内要望のあった箇所から、冬期スリップ事故等の危険度を調査し、定置式凍結防止剤自動散布装置の設置を行うことを検討している。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・第七次総合計画に沿って定置式凍結防止剤自動散布装置を3箇所設置する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・効果及びランニングコストを十分に踏まえた上で整備する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,109	11,243	11,000	18,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	118	120	118	199
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	定置式凍結防止剤散布装置の設置	要求の ポイント	凍結危険箇所への計画的な設置	事業 実施の 課題
------	-----------------	-------------	----------------	-----------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	11,000	18,500	7,500	11,000	11,000	・計画どおり定置式凍結防止剤散布装置を3箇所設置	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	6,050	10,175	4,125	6,050	6,050		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	4,950	8,325	3,375	4,950	4,950		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	72510	除雪事務費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	除雪計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。 雪またじの苦勞を軽減するため、流雪溝の整備を積極的に行います。
	課			7	土木費		分野	8	防災		実施計画事業		
担当課	基金整備部 維持課	内線	予算	2	道路橋りょう費	基本施策	1	災害に強いまちをつくる	H25実施計画額	千円			
				項	5		除雪対策費	施策			1	雪害の防止	
				目	2322								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	道路交通網の利用者	どうしたいのか(意図)	誰もが安心、安全な暮らしを守るため、冬期間の道路除雪及び除雪補完作業による交通確保を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	町内会等に配布する除雪計画書の印刷製本を実施する。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	町内会等に除雪計画書を印刷・製本して配布した。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	除雪計画書印刷部数	部	目標値	400	400	400	400
成果面	算出根拠等		実績値	400	400		
			達成率(%)	100	100		
補足			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	除雪計画の周知徹底、除雪に対する市民の協力等と呼び掛けるためにも継続して実施する。
	○ 維持・改善	
二次評価	拡大	(担当課評価に同じ)
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	280	155	380	336
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3	2	4	4
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	除雪計画の作成など	要求のポイント	事業実施の課題
------	-----------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	380	336	△ 44	300	300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	380	336	△ 44	300	300		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	73100	河川草刈業務委託費	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画		市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります。
種別			款	7	土木費	分野	1	自然	実施計画事業	河川美化推進事業	
担当課		基盤整備部 維持課	項	3	河川費	基本施策	1	恵まれた自然を守り活かす	H25実施計画額	14,000 千円	
		内線	目	1	河川維持費	施策	4	水と親しむ場の整備			
		2322									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	河川堤防の除草を地元団体で実施して、河川環境を保全する。	概要	事業の実施手法(手段)	1級河川の堤防除草作業を地元団体に委託する。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	河川堤防除草実施面積 338,000㎡							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		河川堤防除草実施面積	㎡	目標値	338,000	338,000	338,000	338,000
			実績値	338,000	338,000			
		算出根拠等		達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足			目標値				
				実績値				
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	観光客の多い市街地周辺の河川の環境保全と高山市のイメージアップを図るため継続して実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	観光客の多い市街地周辺の河川の環境保全と高山市のイメージアップを図るため継続して実施する。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	・流域の環境保全等のため、地元団体と協働して継続して実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	13,376	13,376	13,400	13,400
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	143	143	144	144
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	一級河川の堤防除草	要求のポイント	事業実施の課題
------	-----------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	13,400	13,400	0	13,400	13,400	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	13,400	13,400	0	13,400	13,400		
その他			0				
一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	73106	市街地河川美化業務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。			
種別				款	7	土木費		分野	1	自然				実施計画事業	河川美化推進事業	
担当課	基盤整備部 維持課			内線	2322	項		3	河川費	基本施策	1			恵まれた自然を守り活かす	H25実施計画額	1,600 千円
				目	1	河川維持費		施策	4	水と親しむ場の整備						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	市街地周辺の河川清掃を行うことにより、市民のみならず観光客にも良好な河川環境を提供し、高山市のイメージ向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	各河川を美しくする会に委託して市街地河川の清掃作業を実施する。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	宮川、苔川、江名子川の河川清掃を実施。							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		河川清掃回数	回	目標値	4	4	4	4
		算出根拠等		実績値	4	4		
				達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足			目標値				
				実績値				
				達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	観光客の多い市街地周辺の河川の環境保全と高山市のイメージアップを図るため継続して実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	観光客の多い市街地周辺の河川の環境保全と高山市のイメージアップを図るため継続して実施する。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	1,307	1,346	1,600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	14	14	17
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312

5 予算編成 (Action2)

事業内容	景観向上のための市街地の河川清掃	要求のポイント	事業実施の課題
------	------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,600	1,600	0	1,600	1,600	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,600	1,600	0	1,600	1,600		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	73110	普通河川占用許可事務費	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画		市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります。
種別			款	7 土木費	分野	1 自然	実施計画事業		
担当課		基盤整備部 維持課	項	3 河川費	基本施策	1 恵まれた自然を守り活かす	H25実施計画額	千円	
		内線 2322	目	1 河川維持費	施策	4 水と親しむ場の整備			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	河川や水路の管理事務を適正に実施して、速やかな雨水の排水及び良好な水環境を保全する。	概要	事業の実施手法(手段)	水門管理者による適正な水門管理を実施する。 法定外公共物の使用申請、許可、廃止届の受理、使用料の徴収。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	水門管理者による水門管理の実施。 法定外公共物の使用申請、許可、廃止届の受理、使用料の徴収。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	法定外公共物使用許可申請(新規)	件	目標値	30	30	30	30
		実績値	30	30				
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	活動指標	法定外公共物使用許可申請(更新)	件	目標値	172	45	50	50
		実績値	172	45				
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	水路管理区分を明確にして、市民にわかりやすいものにするために関係課と協議を継続する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	管理区分を明確にし、引き続き適正な事務処理を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	9,270	8,908	9,384	700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	99	95	101	8
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	河川占用許可事務 水門管理者に対する謝礼	要求のポイント	事業実施の課題
------	-------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	640	700	60	640	640	・積算内容を精査し、前年並み事務費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	640	700	60	640	640		
一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	73115	普通河川整備事業	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市 長 公 約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。 ・土石流等の自然災害に備える防災施設の施工を進め実践的な防災訓練を実施します。			
種別			款	7	土木費		分野	8	防災				実施計画事業	普通河川整備事業	
担当課	基盤整備部 維持課		内線	2326	項		3	河川費	基本施策	1			災害に強いまちをつくる	H25実施計画額	70,000 千円
			目	1	河川維持費		施策	3	豪雨災害の防止						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	普通河川の受益を受けている全ての市民	どうしたいのか(意図)	普通河川周囲の良質な生活環境の確保と、豪雨による災害を防止するため、護岸や河床の整備を実施し、市民の安全と財産を守る。	概要	事業の実施手法(手段)	雨水排水等による溢水箇所の普通河川をその箇所に適した工法で整備し、環境保全を図る。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	河川整備工事 契約件数 N=44件						
成果面	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
		目標値					
実績値							
算出根拠等		達成率(%)					
指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
		目標値					
実績値							
算出根拠等		達成率(%)					
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・老朽化、断面不足等の普通河川を計画的に整備を進める必要がある。
-----------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・対象箇所の優先度を決め、それに基づき計画的に整備を行っている。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大	・引き続き、普通河川の整備を実施し、豪雨等による災害を防止する。
	縮小	
	廃止検討	
	○ 維持・改善 拡大	
二次評価	縮小	(担当課評価に同じ)
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	105,513	98,452	70,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,125	1,055	754
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	普通河川の老朽化や断面不足に伴う整備	要求のポイント	町内要望等があったものを主に現地確認の結果、緊急性の高い箇所を整備	事業実施の課題	
------	--------------------	---------	-----------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		70,000	158,900	88,900	104,000	104,000	・要求箇所の緊急度を考慮し、必要な事業費を確保	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金		12,750	12,750	13,000	13,000		
	その他			0				
	一般財源	70,000	146,150	76,150	91,000	91,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名 74800 種別	駐車場管理費			会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	駐車場整備計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。	
	担当課 基盤整備部 維持課	内線 2322	款		7	土木費		分野	3	道路・交通		実施計画事業			駐車場運営事業、駐車場維持修繕・改修事業
			項		4	都市計画費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する		H25実施計画額			20,800 千円
			目		8	駐車場管理費		施策	4	道路利用環境の向上					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客	どうしたいのか(意図)	市営駐車場を適正に維持管理して、駐車場利用者の利便性を向上させ、市内の渋滞緩和を図る。	概要	事業の実手法(手段)	指定管理者による駐車場の運営。 駐車場修繕・更新計画に基づく機器類の改修・更新工事の実施。
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	かじ橋駐車場タワー改修工事 天満駐車場管制システム改修工事							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		駐車場管理運営箇所数	箇所	目標値	9	9	9	9
		算出根拠等		実績値	9	9		
				達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足			目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	中心市街地へのバスの流入を減らし、市街地の渋滞緩和並びに観光客の快適で安全な歩行空間確保の方策を検討する。		
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	市街地の交通渋滞緩和、観光客の利便性向上のために継続して駐車場管理業務を実施する。	
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討		(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	28,251	43,317	41,669	41,535
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	301	464	449	447
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	市営駐車場(9か所)の管理運営	要求のポイント	弥生橋駐車場管制システム(券券・精算機)の更新 かじ橋駐車場機械部品の交換・改修	事業実施の課題	・駐車場舗装の経年劣化が進んでおり、今後、大規模な舗装修繕工事が必要となる。 (大型車利用の神明・不動橋、天満駐車場) (花岡駐車場1・2Fの樹脂系すべり止め舗装)
------	-----------------	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	33,772	41,535	7,763	26,272	26,272	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	33,772	41,332	7,560	26,272	26,272		
一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	96151	土木施設災害復旧事業	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	4 市民の生活と生命・財産を守ります。 ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路や都市計画道路の整備を進めます。 ・土石流等の自然災害に備える防災施設の施工を進め実践的な防災訓練を実施します。				
種別				款	10	災害復旧費		分野	8	防災							
担当課	基盤整備部 維持課			内線	2326	項		1	土木施設災害復旧費	基本施策				1	災害に強いまちをつくる	H25実施計画額	千円
				目	1	過年土木施設災害復旧費		施策									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域住民及び市道通過車両	どうしたいのか(意図)	平成23年6月1日に発生した地すべり災害により、市道が埋塞したため、災害復旧事業により復旧工事を実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	アンカー付吹付法砕工、吹付法砕工、植生基材吹付工、土工 1式
	対象者数	93,055 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	測量調査設計委託 1式							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・早期に完成させて、早期に効果を発揮させることが必要。
-----------------	-----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・計画工程に沿って工事を実施している。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	22,016	160,000	60,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	0	236	1,723	646
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道日面戸谷線災害復旧工事(地すべり災害)	要求のポイント	事業実施の課題
------	-----------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	160,000	60,000	△ 100,000	60,000	60,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	106,720	40,020	△ 66,700	40,020	40,020		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	53,280	19,980	△ 33,300	19,980	19,980		